令和 4 年度日本理科教育学会九州支部大会

開催日 2023(令和5)年5月20日(土)

会 場 沖縄県市町村自治会館

日 程

9:15 ~ 9:50 受付

9:50 ~ 11:05 研究発表(第1セッション)

11:05 ~ 11:15 休憩

11:15 ~ 12:30 研究発表(第2セッション)

12:30 ~ 14:00 昼休憩 / 九州支部評議員会(B 会場)

14:10 ~ 14:40 日本理科教育学会九州支部総会(A 会場)

14:50 ~ 16:05 研究発表(第3 セッション)

大会実行委員会

実行委員長 杉尾 幸司 (琉球大学教育学研究科)

吉田 安規良(琉球大学教育学研究科)

岩切 宏友 (琉球大学教育学部)

福本 晃造 (琉球大学教育学部)

城間 吉貴 (琉球大学教育学部)

事務局 濱田 栄作 (琉球大学教育学部)

研究発表プログラム(A会場)

座長	杉尾幸司(琉球大学大学院教育学研究科)	
A-1 09:50~10:05	中等教育段階の理科の指導法科目における沖縄気象台による特別授業 〇吉田安規良(琉球大学大学院教育学研究科), 根間幸美(沖縄気象台)	1
A-2 10:05~10:20	探究を通した深い学びのための理科教師の教材知と学習知3 -理科教員を目指す学生が考える探究のための資質・能力- 渡邉重義(熊本大学大学院教育学研究科)	5
A-3 10:20~10:35	中学生が理科の授業内容理解をするきっかけに関する一考察 嶋倉紗羽(琉球大学大学院教育学研究科)	9
A-4 10:35~10:50	児童の探究力と教員志望学生の探究に関する指導力の育成 -夏休み自由研究における探究プロセスの問診- 〇遠藤晃(南九州大学人間発達学部), 中原梨帆(都城市立西小学校)	11
A-5 10:50~11:05	鹿児島市立科学館を活用した教員向け科学教育研修プログラムの構築 土田理(鹿児島大学法文教育学域教育学系)	15
11:05~11:15	休憩	
座長	吉田安規良(琉球大学大学院教育学研究科)	
A-6 11:15~11:30	子どもによる問いの生成・検証の能力を育成する理科授業デザイン 〇石川あさひ(島田市立島田第五小学校), 佐藤寛之(早稲田大学教育・総 合科学学術院)	17
A-7 11:30~11:45	教師と子どもの相互作用における意味形成の解釈過程の分析 -Peirce の 3 項関係の「解釈項」に着目して - 〇阿部共沙(横浜国立大学教職大学院), 遠藤寛(横浜市立三ツ沢小学校), 後藤大二郎(佐賀大学), 和田一郎(横浜国立大学)	19
A-8 11:45~12:00	アーギュメントにおける十分な証拠の利用の向上を目指した小学校理科授業デザインの改善:証拠の十分性に関する認識的理解の深化に着目して 〇俣野源晃(神戸大学附属小学校),山口悦司(神戸大学)	21
A-9 12:00~12:15	アーギュメント構築に関わる科学的モデリングの機能 -小学校第6学年「植物の水の通り道」の事例的分析— 〇中野未優(横浜国立大学教職大学院), 奥平直子(横浜国立大学教育学 部附属鎌倉小学校), 後藤大二郎(佐賀大学), 神山真一(大阪体育大学), 山本智一(兵庫教育大学), 和田一郎(横浜国立大学)	23
A-10 12:15~12:30	科学技術の社会問題を題材とした小学生向け教育プログラムの評価:ゲノム編集の基礎知識・ステイクホルダー意見文に関する教材に着目して 〇口羽駿平,山口悦司,坂本美紀(神戸大学),山本智一(兵庫教育大学), 原愛佳,近江戸伸子(神戸大学),侯野源晃,澁野哲(神戸大学附属小学校)	25

12:30~14:00	昼休憩/九州支部評議員会(B会場)	
14:00~14:10	休憩	
14:10~14:40	日本理科教育学会九州支部総会(A会場)	
14:40~14:50	休憩	
座長	坂本憲明(福岡教育大学)	
A-11 14:50~15:05	"SSIBL モデル"を導入したアクションリサーチ(1) -「エネルギー資源」を題材にした中学校理科授業の理論的検討を中心として- 〇野添生(宮崎大学大学院教育学研究科), 中嶋康尋(宮崎市立広瀬中学校)	27
A-12 15:05~15:20	"SSIBL モデル"を導入したアクションリサーチ(2) -「エネルギー資源」を題材にした中学校理科の授業開発を中心として- 〇中嶋康尋(宮崎市立広瀬中学校), 野添生(宮崎大学教育学部)	29
A-13 15:20~15:35	小学生の観察・実験における「考察」の理解に関する事例的研究 -小学校第 6 学年「物の燃え方と空気」の学習を事例に- 桃原研也(鹿児島大学大学院教育学研究科)	33
A-14 15:35~15:50	仮説設定能力の育成を目指したワークシートの作成とその有効性の検証 小濵寛二(鹿児島県立鶴翔高等学校(鹿児島大学大学院教育学研究科))	35
A-15 15:50~16:05	データ駆動型 GIGA スクール対策に向けた小学校理科の模擬授業指導におけるデジタルノートアプリ活用に関する実践調査 ーテキストマイニングによる分析を通して一 杉本剛(東大阪大学)	39

研究発表プログラム(B会場)

座長	岩切宏友(琉球大学教育学部)	
B-1 09:50~10:05	植物標本データベースの整備および ICT 導入授業におけるデータベースの活用 〇齊藤由紀子(琉球大学教育学部), 天野正晴(沖縄美ら島財団),	41
	傳田哲郎(琉球大学理学部)	
B-2 10:05~10:20	科学実験教室を通じた幼児の意識・行動変容と教育環境 〇福本晃造、小林理気、宮國泰史、梅田雄飛、杉尾幸司(琉球大学)	43
B-3 10:20~10:35	スケールモデルと作図・数値計算を組み合わせた中学校理科授業実践 伊佐勇亮(浦添市立港川中学校)	45
B-4 10:35~10:50	探究力を高めるクエスチョンカードの有効性について -理数探究を事例として- 〇中村元紀, 川端俊一(沖縄県立球陽高等学校)	49
B-5 10:50~11:05	大学生を対象とした気象分野でのプログラミング学習:大学生のプログラミング能力と科学的推論力との相関 板橋克美(崇城大学総合教育センター)	51
11:05~11:15	休憩	
座長	福本晃造(琉球大学教育学部)	
B-6 11:15~11:30	文系大学教養課程における学生の化学(科学)リテラシーに関する考察と今後の課題について 岩間世界(熊本学園大学)	55
	後の課題について	55 59
11:15~11:30 B-7	後の課題について 岩間世界(熊本学園大学) 導電性インクペンを用いた低学年児童のための電気回路学習 一創造力を育む公開講座への取り組みー	
11:15~11:30 B-7 11:30~11:45 B-8	後の課題について 岩間世界(熊本学園大学) 導電性インクペンを用いた低学年児童のための電気回路学習 -創造力を育む公開講座への取り組み- 〇後藤加代,上野崇寿(大分工業高等専門学校) 鹿児島大学における高校生向け先取り履修科目開講の試み -高大接続教育の新たな形- 〇中西裕之,岡村浩昭,松本詔,秦重史,加藤太一郎,九町健一,小林励司	59
11:15~11:30 B-7 11:30~11:45 B-8 11:45~12:00	後の課題について 岩間世界(熊本学園大学) 導電性インクペンを用いた低学年児童のための電気回路学習 -創造力を育む公開講座への取り組みー 〇後藤加代,上野崇寿(大分工業高等専門学校) 鹿児島大学における高校生向け先取り履修科目開講の試み -高大接続教育の新たな形- 〇中西裕之,岡村浩昭,松本韶,秦重史,加藤太一郎,九町健一,小林励司 (鹿児島大学理工学域理学系理工学研究科(理学系)) 亜鉛-エチレンジアミン四酢酸キレート(Zn-EDTA)の多様な配位構造 -高大接続を意識した化学教材として一	59 61
11:15~11:30 B-7 11:30~11:45 B-8 11:45~12:00 B-9 12:00~12:15	後の課題について 岩間世界(熊本学園大学) 導電性インクペンを用いた低学年児童のための電気回路学習 -創造力を育む公開講座への取り組みー 〇後藤加代,上野崇寿(大分工業高等専門学校) 鹿児島大学における高校生向け先取り履修科目開講の試み -高大接続教育の新たな形- 〇中西裕之,岡村浩昭,松本詔,秦重史,加藤太一郎,九町健一,小林励司 (鹿児島大学理工学域理学系理工学研究科(理学系)) 亜鉛-エチレンジアミン四酢酸キレート(Zn-EDTA)の多様な配位構造 -高大接続を意識した化学教材として一 野口大介(長崎大学)	59 61
11:15~11:30 B-7 11:30~11:45 B-8 11:45~12:00 B-9 12:00~12:15	後の課題について 岩間世界(熊本学園大学) 導電性インクペンを用いた低学年児童のための電気回路学習 一創造力を育む公開講座への取り組みー 〇後藤加代,上野崇寿(大分工業高等専門学校) 鹿児島大学における高校生向け先取り履修科目開講の試み -高大接続教育の新たな形- 〇中西裕之,岡村浩昭,松本韶,秦重史,加藤太一郎,九町健一,小林励司 (鹿児島大学理工学域理学系理工学研究科(理学系)) 亜鉛-エチレンジアミン四酢酸キレート(Zn-EDTA)の多様な配位構造 一高大接続を意識した化学教材として一 野口大介(長崎大学)	59 61

座長 城間吉貴(琉球大学教育学部)

B-10 14:50~15:05	温暖化への取り組みについての総合大学新入生の考え -頻出語- 飯野直子(熊本大学大学院教育学研究科)	67
B-11 15:05~15:20	TIMSS 2019 環境認識尺度に関する日本人学習者の特徴 中村大輝(宮崎大学)	7 1
B-12 15:20~15:35	STEAM 教育における知識構築プロセス -小学校第5学年ハザードマップづくりを例にして- 〇後藤大二郎(佐賀大学),北島光浩(佐賀大学教育学部附属小学校), 和田一郎(横浜国立大学),米田重和(佐賀大学)	75
B-13 15:35~15:50	アートとサイエンスを融合した中学校での陶芸授業の試み -色と温度の関係に着目した絵付けの作業- 牧野治敏(大分大学教育マネジメント機構)	79
B-14 15:50~16:05	沖縄における除湿機排水の水質・水量調査と教育現場での活用 〇泉水仁(琉球大学研究基盤統括センター), 中川鉄水(琉球大学理学部), 福本晃造(琉球大学教育学部)	81